

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	新潟機械株式会社 桃山工場 新築工事 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132-1 他1筆 工業専用地域、法第22条区域 工場, 2025年4月 予定 18,026.24 m ² 7,585.22 m ² 9,543.72 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2024年1月30日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果



B+

$$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{45.3}{44.4} = 1.0$$

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.4		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	- - 3.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.1		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 3.2
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	- 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		節水 軸体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	4.0 3.0 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	3.0 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

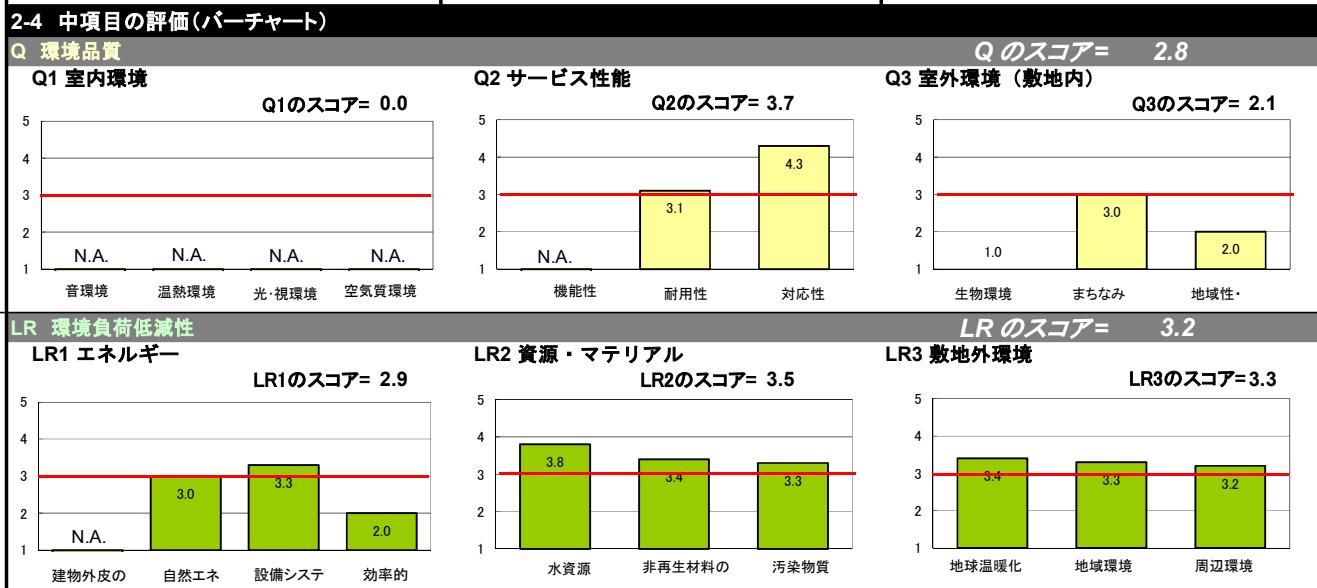
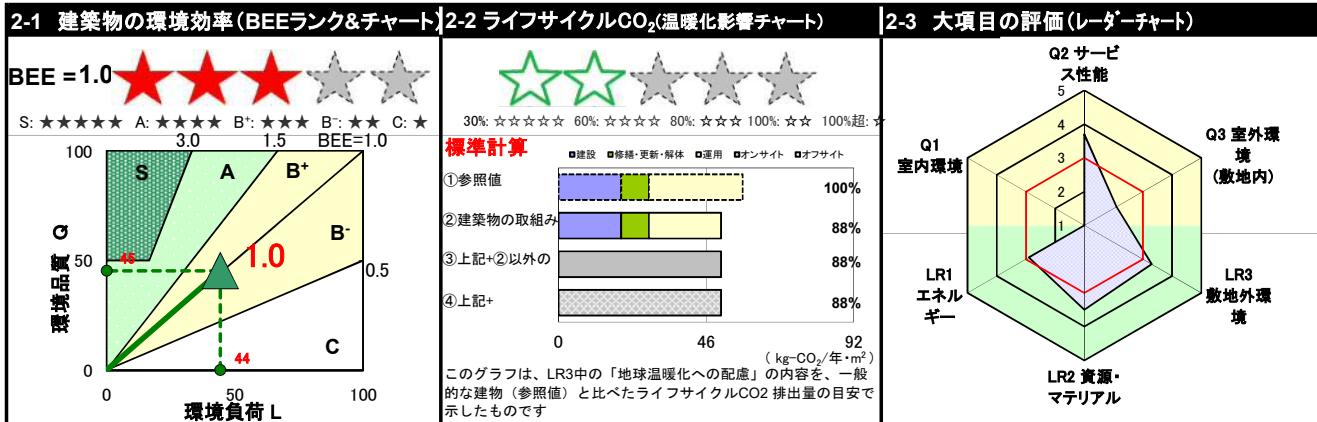
- 自動水栓、節水型便器の採用
- 内装が乾式工法で分別性に配慮、OAフロア採用

CASBEE 新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE建築(新築) 2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟機械株式会社 桃山工場 新築工事	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市東区桃山町2丁目132-1 他1筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年1月30日
敷地面積	18,026 m ²	作成者	羽賀 清
建築面積	7,585 m ²	確認日	2024年1月30日
延床面積	9,544 m ²	確認者	羽賀 清



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
脱炭素化社会に向けた施設づくりとして、環境負荷低減を図ります。		-
1. 建物の外皮負荷の低減：断熱性能の向上を図り、省エネルギーに配慮します。		
2. 設備による環境負荷低減：高効率機器の採用により省エネルギーに配慮します。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
-	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせています。	緑地を設けることにより良好な景観を形成に配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明等の採用により省エネルギーに配慮しています。	自動水栓等の省水型機器を用い、水資源の保護に配慮しています。	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮しています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される